

オールインワンのネットワークセキュリティを仮想アプライアンスで提供  
 ～仮想基盤で動作可能なソフトウェアUTMをリリース～

キヤノンMJ ITグループのキヤノンITソリューションズ株式会社(本社: 東京都品川区、代表取締役社長 浅田和則、以下「キヤノンITS」と)とトライポッドワークス株式会社(本社: 仙台市、代表取締役社長 佐々木賢一、以下「トライポッド」)は、ネットワークセキュリティ分野で提携します。ソリューションの第一弾として、キヤノンITSは、仮想基盤上で動作可能なUTM(統合脅威管理)製品の仮想アプライアンス版「SECUI MF2 Virtual Edition(セキュアイ エムエフツー ヴァーチャルエディション)」を2014年1月より販売開始予定です。

■ UTM(統合脅威管理)ソリューションを仮想環境で構築可能

昨今、企業のコンピューティング基盤やクラウドサービスを提供するデータセンターのサービス基盤は、TCO削減を目的とし、サーバー仮想化技術の利用が進んでいると同時に、ネットワークのセキュリティの重要度はますます高くなっており、UTM(統合脅威管理)ソリューションが注目されています。しかしながら、従来のUTM製品はアプライアンスで提供されることが多く、仮想基盤上にUTM機能を実装することは困難でした。「SECUI MF2 Virtual Edition」は、ソフトウェアとして仮想基盤上にインストールが可能で、TCOを削減できるだけでなく、一つの仮想基盤上の個々の仮想環境ごとのポリシー設定が可能になります。これにより、データセンターやサービスプロバイダーは、顧客ごと/システムごとのセキュリティポリシーを反映した、よりきめの細かいネットワークセキュリティ機能を提供することができます。また、自社で導入する場合も、オーバースペックなセキュリティ機器を導入することなく、常にその時点の自社環境のリソースに応じた過不足のないIT投資が実現できます。

■ 仮想環境におけるネットワークセキュリティ市場の開拓を促進

「SECUI MF2」は、韓国SECUI社(本社: 韓国ソウル、CEO 裴昊敬: Bae Ho-kyung、以下「セキュアイ」)が開発した次世代ファイアーウォールソリューションです。日本国内では、トライポッドが日本版の開発とサポートを担当しており、2008年の国内展開開始以来7,000社以上の導入実績があります。本製品の仮想アプライアンス版についてはキヤノンITSが総販売元となり、顧客や販売パートナーに対するビジネス開発を行います。今後、セキュアイの持つ先進のテクノロジー、トライポッドが持つ開発/サポート力、キヤノンITSが持つソリューション提案力や販売力を結集し、3社共同で仮想環境におけるネットワークセキュリティ市場の開拓を進めていきます。

■ 「ITpro Expo2013」にデモ環境を展示

トライポッドは「ITpro EXPO 2013」において、『SECUI MF2 Virtual Edition』を出展します。  
 会期: 2013年10月9日(水)～11日(金)  
 会場: 東京ビッグサイト 東ホール(ブース番号: 15-20D)  
 主催: 日経BP社( )

■ SECUI MF2 Virtual Editionについて

<主な機能>

ファイアーウォール、VPN、アンチウイルス、IPS(不正侵入防止)、DDoS(サービス停止攻撃)対策、URLフィルタリング、スパムメール対策、アプリケーション・コントロール

<導入対象>

- クラウドサービス基盤(プライベートクラウドからパブリッククラウドまで)
- 自社内での仮想化サーバー

<対応する仮想基盤>

VMware、KVM、(その他、今後追加予定)

◆ キヤノンITソリューションズ株式会社 会社概要

本社所在地	東京都品川区東品川2-4-11 野村不動産天王洲ビル
事業所	三田/幕張/西東京/三鷹/大阪/名古屋/大手町
代表取締役社長	浅田 和則
事業内容	SIサービス事業、ITサービス事業、プロダクトソリューション事業、MR事業

◆ トライポッドワークス株式会社 会社概要

本社所在地	仙台市青葉区一番町1-1-41 カメイ仙台中央ビル7F
東京オフィス	東京都中央区日本橋室町1-5-3 福島ビル8F
代表取締役社長	佐々木 賢一
事業内容	企業向けセキュリティソリューションの開発/販売 画像処理、組込みソフトウェア等の先端技術開発 ITコンサルティング、クラウドサービスなどのサービス提供